

# 競 技 注 意 事 項

- 1 規 則
- ①本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
  - ②本大会ではスタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟競技規則 TR16.7により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
  - ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR5.2～TR5.6により、800m未満の種目とフィールド種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。
  - ④本大会は、すべて決勝タイムレースとする。
- 2 練 習
- ①ウォームアップは、第2陸上競技場で行う。その時は、役員の指示に従い事故防止に努める。また、使用した器具は元の場所に返却すること。
    - \* 8：00～9：30 全面
    - \* 100m・100mH・110mH 実施時はバックストレート
    - \* 3000m・5000m 実施時は、それぞれスタート後にバックストレート5～8レーン
  - ②リレー競技の前に練習時間を設ける。
  - ③投てき種目の練習は招集完了後第2陸上競技場で行う。役員の指示以外による練習は危険防止のため一切禁止する。
  - ④園路での集団走は禁止とする。
  - ⑤開門時刻は7時30分・練習開始時刻は8時とする。
- 3 招 集
- ①招集所は第2陸上競技場の用器具庫内に設ける。
  - ②招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

種 目	招集開始	招集完了
トラック種目	30分前	20分前
フィールド種目	60分前	50分前

- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④競技者は、招集開始時刻から完了時刻までに、競技者自らがアスリートビブス、競技用シューズ、衣類、持ち物等の点検を受ける。
- ⑤招集完了後、トラック競技の選手は出発係の指示に従い、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は、競技開始前に現地で点呼を受ける。
- ⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに所定の用紙を招集所に提出する。

⑦出場する種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに棄権届を招集所に提出する。

- 4 入退場
- ①第2陸上競技場には陸上競技場側ゲート、体育館側ゲートから入退場する。
  - ②トラック競技終了後の退場は、荷物を回収しそのまま入場した場所より速やかに退場する。荷物の回収のためスタート地点戻る際は、本部裏またはバックストレートを通行しその後退場する。
  - ④フィールド競技は競技終了後、競技役員の指示従い入場した場所より速やかに退場する。

5 アスリートビブス

アスリートビブスは胸と背にしわにならないようにのぼして四隅を結着し、切ったり、曲げてはいけない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背につけるだけでもよい。また、トラック種目は腰ナンバーカードを右腰後方につける。

- 6 番組編成
- トラック競技の組及び走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。

7 走高跳におけるバーのあげ方は次のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	
男子成年・少年走高跳	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	以降3cm
女子共通走高跳	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	以降3cm

天候等により、審判長の指示で最初の高さを変更することがある。

8 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合は、トラック競技においてすべての競技者が競技を終了していない時点でも審判長が競技を打ち切ることがある。

10 リレー競技について

- ①リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙1部を第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出する。リレーオーダー用紙は招集所に用意する。
- ②リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用する。

- 11 用器具
- 競技に使用する用器具は競技場備えつけのものを使用する。

12 入賞及び得点

- ①入賞は8位までとする。
- ②対抗得点は各種目とも1位8点、2位7点、3位6点、・・・、8位1点とする。
- ③各種目の合計得点により総合順位を決定する。同点の場合は上位入賞者の多い団体を上位とする。

- 13 表彰
- ①各種目の1位から3位までの競技者と、総合成績の男女共に1位から8位までの団体に賞状を授与する。また、1位の団体には楯を授与する。
  - ②総合成績のみ閉会式で表彰を行う。各団体、代表1名（優勝は2名）が参加すること。

各種目の賞状は競技終了後、宿泊研修所2階大ホールで配付する。

14 抗議 日本陸上競技連盟競技規則 TR8による。

15 競技場に商品名のついた衣類・バックを持ちこむ場合について

①上半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm<sup>2</sup>まで文字高さ5 cm以内  
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。

②下半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm<sup>2</sup>まで文字高さ5 cm以内  
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。

③バッグ・タオル（ブランケット含む）

製造会社／ロゴ：1個・最大40 cm<sup>2</sup>まで文字高さ5 cm以内

④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）

製造会社／ロゴ：1個・最大6 cm<sup>2</sup>まで文字高さ3 cm以内

16 開門・場所取りについて

①第2陸上競技場

バックストレート側の樹木の下の場所取りとテント設置は許可する。ただし、各チーム1ヶ所とする。

7時00分に体育館側ゲート外で各チームの代表者1名により入場順の抽選を行う。入場順決定後、7時15分に同ゲートから各チーム代表者2名がシートを持参して入場し場所を確保して退場する。7時30分に陸上競技場側、体育館側の2か所を開門する。

②その他のテント設置可能箇所

16号側緑地帯、モノレール下、体育館前石畳とする。体育館の軒下の場所取りは禁止する。

③陸上競技場1階の軒下の場所取りは許可するが、工事関係の設置場所に注意する。

④その他

・各チームの控え場所（テント設置）は1カ所限定とする。

・樹木等にロープを巻き付ける等の行為がないようにする。

・女子の更衣室として宿泊研修所の2階、第3研修室を使用することが出来る。ただし、控え場所としては使用できない。

・宿泊研修所1階のトイレを使用しても良い。

17 その他 ①横断幕・のぼり旗等については設置しない。

②携帯電話・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽 再生機器等、競技場内に持ち込むことはできない。

③競技場内では雨天時以外は傘の使用は認めない。

④プログラムの記載内容の訂正は早めに TIC へ届け出る。

⑤セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。

⑥控所、競技場内外の清掃・整頓につとめる。

⑦貴重品等の管理は各自で行い、紛失盗難等には十分注意する。

- ⑧ホームストレート側本部席前の通行を禁止とする。
- ⑨ゴミの回収は行わない。各自で責任を持って持ち帰る。
- ⑩競技中に発生した事故などについては、応急措置を主催者で行うが、以後の責任を負わない。
- ⑪閉会式は晴天時は第2陸上競技場、荒天時は宿泊研修所2階大ホールで実施する。

閉 会 式 次 第

成績発表

表 彰

挨 拶